

<p>I 目指す学校</p> <p>「人権を尊重した教育のもと、生徒一人一人のライフステージを見通し、自立と社会参加に必要な確かな学びを実現する学校」</p> <p>1 生徒一人一人が生き生きと通い、自分の成長を実感できる学校 2 保護者、地域、関係機関と協働し、特別支援教育推進の核となる学校 3 研修・研究を重ね、専門性の向上と学習活動の充実・改善に取り組み続ける学校</p>	<p>II 教育目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎学力を充実させ、自ら学び、考え、主体的に表現する力を育成する。 ・互いを尊重し合う思いやりの心と規範意識を育成する。 ・社会生活に必要な体力、技能、態度、習慣を育成する。 ・社会の一員として自ら行動し、社会に貢献できる力を育成する。 	<p>III 校訓</p> <p>「誠心誠意」</p> <p>生徒や教職員が何事にも誠実に責任をもって取り組み、保護者や都民に信頼される学校を目指す。</p>
---	--	---

社会に出るまでの3年間を過ごす学校として

IV 中期目標と方策		V 今年度の取組目標と方策	
		1 教育活動の目標と方策	2 数値目標 (◎重点)
学 ぶ	1 人権を尊重した教育の充実	①生徒の人権に配慮した指導の徹底	ア 自己肯定感、自尊感情や互いを思いやる気持ちの育成 イ 乱暴な態度や言葉、追い込む指導等の禁止 ウ 人格を尊重した「さん」呼びの推奨 エ 視聴覚教材を活用した人権教育の実施 オ 生徒の手本となる教職員の接遇対応力向上 ア 体罰を生まない職場風土醸成のための研修の実施 イ いじめ早期発見の徹底 (チェックリストの実施)
	2 根拠に基づく授業改善と教員の専門性向上	①アセスメント、外部専門家の活用による授業改善 ②主体的、対話的で深い学びを実現するための授業改善の推進	ア 専門家 (障害当事者・OT・PT等) による授業観察及び評価 イ 外部専門家を積極的に活用した授業改善の推進 ア 授業者支援方式による研究授業の実施 イ 授業に関する生徒評価の満足度の向上
	3 自立の礎となる生活指導の充実	①ルールを守る安全・安心な学校生活の実現 ②安全・安心な通学環境の整備	ア 校訓 (誠心誠意) と「あ (挨拶)・じ (時間)・み (身だしなみ)」の指導 イ 生徒ハンドブックを活用した指導 (生活のきまり) ウ 生活指導だよりの発行 エ 企業等関係機関と連携した SNS に関する安全指導の実施 ア スクールバスの安全な運行と車内事故の防止 イ スクールバス連絡会、乗務員研修会の実施
	4 オリンピック・パラリンピック教育の推進	①学校 2020 レガシー (※) の構築に向けた取組の推進	ア 「4×4の取組」(※)を明確にしたリビビッパ・リビビッパ教育の実施 イ アダプテッド・スポーツ(※)を取り入れた体育活動の充実 ウ 芸術・文化活動の推進 エ 国際交流の実施【普・職】
	5 読書活動の充実	① 生徒が図書に親しむ環境づくりと学校図書活用の推進	ア 読書活動の推進 イ 現実度の高い避難訓練の実施 ウ 宿泊防災訓練における総合的な防災学習の実施 エ 伝言ダイヤルを活用した緊急時連絡訓練の実施 オ 教員の救命技能認定取得の奨励
	6 主体性を育む防災教育の推進	① 現実的な防災・避難訓練の実施と体制整備 ②地域と連携した大規模災害対策の検討	ア 地域と連携した総合防災訓練の実施 イ 学習環境の安全点検の実施 (コーナークッション設置等) ウ 学習指導案に事故防止策の記載 ア 短時間研修の実施 イ 教育情報の共有化推進
	7 安心・安全な環境整備	①未然の事故防止意識の高揚	ア デジタル教材の開発 イ 漢字能力検定、日本語ワープロ検定等の受検推進【普・職】 ウ 各種技能検定 (清掃、喫茶接客、流通等) を活用した意欲向上【普・職】
	8 指導力の向上	①個の力を学校全体のものにする	ア 普通科各作業班の作業内容の充実と生産高の向上【普】 イ 商品の開発・研究と外部販売の充実【職】
	9 ICT教育の推進	①オンライン学習のための環境整備	ア 葛飾商業高校との連携による販売と作業製品改善【普・職】 イ 外部専門家による作業内容、方法の指導・助言【普・職】
つ な が る	1 自立と社会参加を目指す進路指導・職業教育の充実	①各種検定を活用した学習意欲の向上 ②作業学習・職業に関する専門教科の指導の充実 ③実業意欲向上プログラムを活用した作業学習の充実 ④外部専門家を活用した指導の充実 ⑤個々の実態に応じた進路指導の充実	ア 適性に応じた適切な進路指導の実施 イ 個別移行支援計画を活用した就労支援機関等との連携 ウ 足立区選挙管理委員会と連携した生徒会選挙の実施【普・職】 エ 関係機関との連携も視野に入れた消費者教育の実施【普・職】 オ 成年年齢を見据えた消費者教育の実施 カ ニーズに応じた適時迅速な支援会議の実施 キ 外部専門家 (SSW) を活用したより効果的な支援策の検討 ク 地域関係機関等における環境整備活動 (清掃等) の実施 ケ 地域自治会を招いての交流活動の実施 コ 「オープンフェスタ」への積極的な参加推進 コ 草加記念体育館での作品展示 コ 文教大学でのパン販売実施
	2 地域と連携した教育活動の充実	①主権者教育、消費者教育の充実 ②関係機関と連携した支援会議の充実 ③地域における社会貢献活動・交流活動の推進 ④共生社会の実現に向けた理解啓発活動の推進	ア ホームページの積極的活用による発信の更なる強化 イ Twitter を活用した迅速な情報提供 ウ Teams を活用できる環境整備推進 ア 足立区を中心とした中学校への理解推進の徹底 イ 職能開発科説明会の充実 ウ 出前授業・体験授業の実施
	3 積極的な発信・広報	①インターネットを活用した積極的な情報発信 ②職能開発科理解推進の充実	ア 授業参観・研修会への参加 イ 運動系、文化系部活動の活動促進 ウ 近隣特別支援学校等との交流、合同練習等の実施 エ 近隣交流校 (淵江高校) との交流活動の実施 オ 食育だよりの発行 カ 食物アレルギーとエビソンの使用に関する研修の実施 キ 緊急時対応訓練の実施 ク 食育相談の実施 (外部ボランティアの活用含む) ケ 食育講話の実施 (外部ボランティアの活用含む) コ 適正なBMI (ボディ・マス指数) の推進
	4 経営企画室の経営参画	① 経営企画室職員の生徒・指導方法理解の推進	ア 歯科衛生士と連携した歯科保健指導の実施 イ 臨床心理士と連携した生徒相談の実施 ウ 医療的ケアに関する研修の実施
	1 部活動・特別活動の充実	①部活動の充実 ②生徒会交流活動の充実	ア オンラインでの研修会・保護者会実施体制の確立 イ 学校評価アンケート (保護者) の回収率の向上 ウ 授業参観週間の実施 エ 保護者向け進路説明会の充実 オ 保護者、地域向け防災講演会の実施
	2 健康づくりと体力の向上	①健康の基盤となる食育の推進 ②専門家と連携した指導・相談の充実 ③医療的ケアに関する理解の推進	ア 教職員の超過勤務時間の適切な把握による自己管理意識の醸成 イ データ教材の共有化推進 ウ 「マイ・プラスワン行動」の推進 エ ハラスメントや服務事故の無い、明るく働きやすい職場環境づくり
	3 保護者・地域とともに進める開かれた学校づくり	①保護者との連携の工夫・充実 ②保護者、地域との積極的な情報共有の推進	ア 加入率40%以上 イ 年間3回以上 ウ 年間2回以上 エ 年間4回以上 オ 年間1回以上 カ 年間1回以上 キ 年間1回以上 ク 年間1回以上 ケ 年間1回以上 コ 年間1回以上実施 コ 回収率80%以上 コ 参観者数延50名以上 コ 年間3回以上、満足度80%以上 コ 年間1回以上 コ ◎毎月超過時間4.5時間以内90% コ 一人1つ以上提供 コ 全教職員 コ 服務研修年間3回
	4 ライフ・ワーク・バランスの実現に向けた職場環境の整備	①教職員各自の「働き方改革」の推進 ②積極的な業務改善と働きやすい職場風土づくり	ア 加入率40%以上 イ 年間3回以上 ウ 年間2回以上 エ 年間4回以上 オ 年間1回以上 カ 年間1回以上 キ 年間1回以上 ク 年間1回以上 ケ 年間1回以上 コ 年間1回以上実施 コ 回収率80%以上 コ 参観者数延50名以上 コ 年間3回以上、満足度80%以上 コ 年間1回以上 コ ◎毎月超過時間4.5時間以内90% コ 一人1つ以上提供 コ 全教職員 コ 服務研修年間3回

※「学校 2020 レガシー」⇒各学校の特色を生かし、家庭や地域等と連携を図りながら、東京 2020 大会以降も長く続けていける教育活動
 ※「4×4の取組」⇒「4つのテーマ」[オリンピック・パラリンピックの精神、スポーツ、文化、環境]と「4つのアクション」[学ぶ (知る)、観る、する (体験・交流)、支える]を組み合わせた取組
 ※「アダプテッド・スポーツ」⇒障害者や高齢者、子どもあるいは女性等が参加できるように修正された、あるいは新たに創られた運動やスポーツ、レクリエーション全般